

新規事業採択時評価結果 (平成 16年度 新規事業化箇所)

担当課 : 道路局国道・防災課

担当課長名 : 中島 威夫

事業名	一般国道403号 <small>かめだにいつどうろ</small> 亀田新津道路	事業区分	一般国道
起終点	自 : 新潟県中蒲原郡亀田町茅野山 <small>なかかんばらくんかめだまちちのやま</small> 至 : 新潟県新津市古田 <small>にいっしこた</small>	事業主体	新潟県
		延長	3.9 km

事業概要

一般国道403号は、新潟市を起点として新津市、三条市等を経由して長岡市方面へ至るなど、新潟県内の主要都市を連絡し県土の骨格を形成する主要幹線道路である。また、新潟県広域道路整備基本計画では、新潟都市圏における中心都市である新潟市と新津市等を連絡する交流促進型路線に位置付けられ、通勤、通学、業務などの社会経済活動を支えるとともに、広域行政や都市機能の共有など地域連携を支援する重要路線である。

当該事業区間は、日当たり約25万台の交通があるため、慢性的な交通渋滞が発生しており、社会経済活動に支障をきたしている。また、2009年の新潟国体では沿道の亀田総合体育館がバスケットボール会場となる予定であるが、交通渋滞によるアクセス性が低下している。このため、慢性的な交通渋滞を緩和するため、平成14年度から着手した一般国道49号茅野山IC改築と連携して1車線付加の暫定整備を行う。

事業の目的、必要性

道路整備により渋滞を緩和し、新潟都市圏の中心都市である新潟市と近接する新津市との連携を強化する。渋滞緩和のため、当該事業が接続する国土交通省が平成14年度から着手した一般国道49号茅野山IC改築と連携し、整備する必要がある。

2009年新潟国体では茅野山IC付近の亀田総合体育館がバスケットボール会場となる予定であり、会場までのアクセスを向上し、国体開催の支援を行う必要がある。

全体事業費	13億円	計画交通量	16,400台/日
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益
	2.5	16億円 事業費 : 11億円 維持管理費 : 5億円	40億円 走行時間短縮便益 : 36億円 走行費用減少便益 : 3億円 交通事故減少便益 : 1億円
			基準年 平成15年

事業の効果等

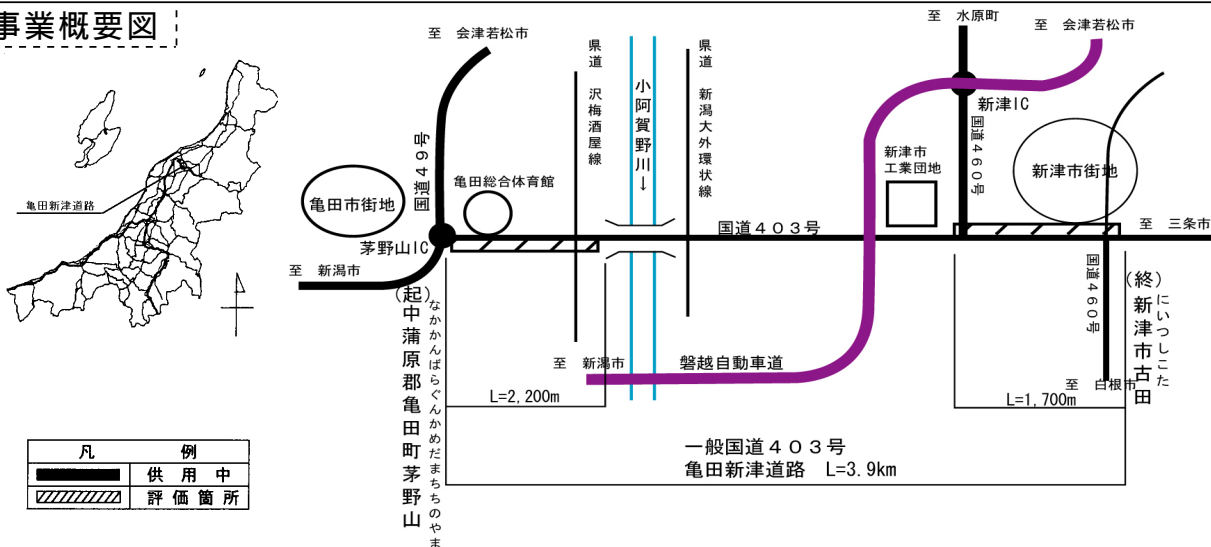
- ・円滑なモビリティの確保 (混雑時旅行速度20 /h未満区間の旅行速度の改善が期待される)
- ・国土・地域ネットワークの構築 (隣接した日常活動圏中心都市間を最短距離で連絡する路線を構成する)
- ・国土・地域ネットワークの構築 (日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる)
- ・個性ある地域の形成 (大規模イベント2009年国体を支援する)

他9項目に該当 (定量的評価項目を含む)

関係する地方公共団体等の意見

新津市、亀田町より強い要望がある。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。